



旭小だより

美咲町立 旭小学校
平成30年 6月 11日
文責 光嶋 昭善



田植え体験学習

～5年 総合的な学習の時間～

5月24日(木)、小山棚田米生産組合の皆様のご協力、ご指導により、5年生13名が棚田で田植えをしました。保護者4名にもご参加いただきました。

手慣れた子から初体験の子までと、経験差が大きい中、皆様には手植への仕方を丁寧に



ご指導いただきました。また、乗用田植機を使った田植えもさせていただきました。

手植を以て田植え体験ということには疑問を持っています。手植は現在の一般的な田植えではありませんから。やはり田植機を使うことが今の体験です。昔と今を比較体験することで、今の稲作を理解することにつながります。歩行田植機まで用意して下さっていたのですが、時間が足らず、見るだけになってしまいましたことは残念なことでした。生産組合の皆様のお力添え・ご配慮に感謝申し上げます。



多くの子どもたちが、「面白かった。」「またしたい。」と感想を述べています。様々な記録も残しています。しかし、こ

こで終わったのでは、ただの体験です。体験したことや教えてもらったことは、体験で得た「情報」だと、私は考えています。情報をもとに考察して得たものが本当に「わかったこと」です。教科書情報に肉付けしたり、一般化・抽象化したり、新たな疑問が出てきたり、そうしたことを、個人としても、学級集団としてもしていかなければなりません。そうしなければ、大きな経済的負担があるのに、なぜ機械化が進むのかということの深い理解にならないと思うのです。小山も全国も同じ歴史的流れの中にある。でも、なぜ小山で、棚田という平野部と比べると不利な条件の中でも機械化して稲作

を続けるのかということに迫れないと思うのです。

生産組合の皆様は、牛耕していた頃の農具も用意してくださいました。これまた、時間不足で、簡単に見るだけになってしまい、申し訳なかったのですが、これが次の学習の伏線になります。

6月25日(月)には、草取り機を押す草取り体験学習を行う予定です。これも、昔の姿から今を理解するための学習です。

旭小ギャラリー

昨年、旭文化祭を見に行きました。すてきな作品が多数展示されていて、感動しながら鑑賞しました。と同時に「これらの作品は、この後どうなるのだろう。」と思ったのです。これらの作品の一部でいいから、子どもたちにも見せたいと思いました。



町民センターと相談していたのですが、やっと実現できました。児童玄関に入ってすぐの狭い一角ですが、作品展示・掲示のスペースを設けました。6月は



「しあわせ学級・手芸グループ」の皆さんがおりがみ作品を寄せてくださいました。色が変わるくす玉に「どうなっとな」と目を輝かせ、折り紙こまをまわし、色紙で折られた花に、「きれいじゃあ」と声を上げていました。

私は、次のようなことを期待しています。

- 地域の方々への文化芸術作品に触れることで、豊かな心が育つ。(おどろき・ときめき)有名な物だけではなく旭の文化芸術に触れることが大切です。
- 作品を通じて、子どもたちと地域の方々がつながるきっかけとなる。(これを作ったのは、うちの近所の人だ。)地域の人をより知ることに繋がりたいのです。
- 文化・芸術を伝える。(私もしたい。教えてほしい。)サロン、三世代交流などで教えていただきたいのです。学校からお願いすることがあるかもしれません。

1ヶ月ごとに作品の入替をする予定です。高価な作品や壊れやすい作品は無理ですが、子どもに見せていただける物がありましたら、小学校(27-3001)

か町民センター(27-3674)にお知らせいただくと幸いです。

いじめを考える集会

6月4日～10日は「いじめについて考える週間」でした。6月4日(月)旭小学校では、児童朝礼で生徒指導主事が子どもたちに語りかけました。(要旨)

「いじめはしてはいけない」と、みんなわかっています。では、「あなたは、いじめをしたことがありますか。」

「いじめだよ」(ブロンズ社)にのっているイラストを示しながらどんなことがいじめか例示していきました。(登場人物)は、どんな気持ちでいじめをしているのでしょうか。顔をみてごらん。「えつ、いじめたつもりなんてないよ」という気持ちです。自分が大切にしたいものと人が大切にしたいものと、いつも同じとは限らないのです。自分が正直に言ったことが相手を傷つけることがあるのです。自分が楽しくやったことも、相手を嫌な気分にするところがあるのです。思わぬことがいじめになってしまうことがあるのです。相手を大切にすることは思いやることです。相手の立場で感じることは必要なことです。

「だれかをいじめてしまっていたかもしれない人はいますか。」心当たりのある人は気をつけなければいけません、一番いけないのは、わかっているいじめをする人です。いじめばっかりしていたら、ひとりぼっちになりますよ。

「心のふしぎ・なぜ・どうして」(高橋書店)をもとにもし、いじめられてしまったら、

①「やめて」と何回も言ひましょう。

はじめはもっとひどくなるかもしれません。でも、いじめる人は心の弱い人です。自分より強い人には何もできません。弱い心には強い心で戦いましょう。はっきりと「やめて！」と言い続ける。心の強さがないとできません。

②家族、先生、信頼できる人に相談してください。

いじめがひどくなると心配したり、いじめられることは恥ずかしいと思ったり、黙ってがまんすれ

ばいいと思ったりするかもしれませんが、黙ってがまんすればいいというものではありません。勇気をふりしぼってください。(以下略)

旭の子は、自分を押し殺してでも、“折り合おう”とするところがあります。美徳かもしれませんが、これだけではいけないのです。いじめに限らず、もの言う強い心・勇気がいります。「いやだ！やめて！つらい。」と声をあげること。それを自分事として考える集団＝本当の友だちがいるのです。教職員も親もおとなが訴えを真剣に受け止め、行動したいのです。自分を出せる人に育てていきたいのです。「たくましい頭」「まあいい心」です。

今後の予定

日	曜	主な行事
12	火	集金日 代表委員会
13	水	4年消防署見学 6年学P
14	木	3年ぶどう栽培体験学習 リレー集会
15	金	郡特別支援学級遠足交流会
16	土	のびサタ(木工) 自転車競技会県大会
17	日	3年学P
18	月	読み聞かせ(低) 保健集会
19	火	クラブ
21・22	木・金	6年 修学旅行
25	月	交通指導 町教委・PTAあいさつ運動 5年田草取り体験学習 地区懇談会(北・南・里・中)
26	火	町統一テスト(国語) クラブ 津山教育事務所学校訪問
27	水	町統一テスト(算数) 地区懇談会(西川加美・西・江与味)
28	木	参観日 5校時下校 14:35 プール管理説明会・救急法講習会
29	金	読み聞かせ(高) 地区懇談会(併和・上小・小山・栃原・西川)
30	土	旭小PTA親睦スポーツ大会 18:45
7/2	月	児童朝礼
3	火	防犯教室 委員会
4	水	アフタースクール スクールバス乗り込み隊
5	木	6年薬物乱用防止教室
6	金	集金日 PTA運営委員会
9	月	5年海の学習 交通指導 1年給食試食会 1年学P
10	火	5年海の学習